

操健康クリニック

MISAOFIKUSAIZOセンター

操 裕 院長

岐阜新聞
矢島薫社長対談



操健康クリニックの中にあるMISAOFIKUSAIZOセンター



矢島薫岐阜新聞社社長

運動組み込み「先制医療」

1977年の開院時、民間医療機関として県内で初めて人間ドック部門を設け、長きにわたって疾病の早期発見・早期治療や健康診断に取り組んできた岐阜市数田南の操健康クリニック。人生100年ともいわれる超長寿時代に合わせた新たな取り組みとして今年1日、医師や医療従事者がチームを組んでフィットネスやリハビリの継続をサポートし、健康増進に役立ててもらおう「MISAOFIKUSAIZOセンター」を新設した。超長寿の時代に操健康クリニックが求められる役割や新施設の狙いについて、操裕院長に聞いた。



操裕院長

「開設地も、岐阜県庁以外に目立つ建物なかった43年前の敷田で。岐阜県を中心に建てた建物も立ち並び、新庁舎建設が進む今を考えると、当院は都岐市の40年の成長とともに歩んできた企業・医療機関というふうになります。操は私の父なのですが、人と違うことをやろうという意思の強い人物です。そういう点が今に至るまでだと思います」

体と心充実「人生100年」

「予防医療という点、名前、人間ドック、立地と、先へ先へと読む力があってこそ」とで、今ではいずれも主流となっています。この間、医療は目まぐるしい進歩を遂げ、治療が昔は難しかった病気が次々と克服されています。2018年の日本人の平均寿命は、昨年7月

薬を減らすチーム医療

「MISAOFIKUSAIZOセンターでは具体的にどのようなことに取り組むのでしょうか。」「センターには3本の柱があります。第1にファーマフリー・フィットネスです。ファーマフリーとは、薬からフリーとなる。つまりできる限り薬に頼ることなく、最小限の薬、積極的な運動生活習慣の改善で、『薬を中心とした治療』から『薬を減らす治療』へと導くプログラムです。現在、生活習慣病に対する有効な薬がたかさんあります。しかしながら複数の良薬を組み合わせて飲んでも、食事や運動についての意識が低い方は、なかなか状態が良くならないことが少なくありません。最近では生活習慣の乱れから、健

企業の健康丸ごと応援

「医療従事者がチームを組んで運動をコーディネートするのは、これまでになかった新しい形ですね。他にはどんな役割があるのでしょうか。」「第2にヘルスApp・リハビリです。病気や外傷後の障害を回復させるリハビリは、医療の中では既に不可欠な存在となっています。しかし、現在の医療経済事情から、医療・介護保

診などで脂肪肝を指摘される若い方が非常に多くなっています。脂肪肝は長期的には肝臓がんにも進行する場合があります。現時点で特効薬はありません。食生活や運動を治療の中心に入れることが大切になってきます」

「閉経後の女性の骨粗しょう症も、骨折につながりやすく、その後の生活の質の低下に直結します。これも運動が重要な役割を果たす代表例でしょう。また、がんも重要なターゲットです。世界中の研究データから、運動はさまざまながんリスクを低下させることが報告されており、この点からも、治療中に運動を入れていくことは大事なことだと考えます。当院のフ

「第3の柱はヘルシビネス・サポートです。最近では企業の健康経営という考えが広く浸透しています。どの企業も、職員の健康増進のために健診受診を奨励されています。しかし、健診後の対応までしっかりと取られているとは言い難いのではないのでしょうか。また、頭、眼、肩、腰の症状など、企業の業務効率を低下させる自覚症状の対策も重要です。そうした問題に対して当院は、理学療法士や作業療法士、管理栄養士を中心に企業に赴き、事業所内で可能な運動療法や栄養指導などを通じて『企業をまもる』健康」にするよう取り組んでいきます。さらに、運動に相乗効果をもたらすと考えられているアロマセラピーを融合させ、クリニカル・アロマセラピーに精通する看護師の監修のもと、マインドフルネス、ストレス・マネージメントも進めています」

「当院は今、新しい医療のカタチを作り出すと熱く燃えています。43年前がそうであったように、時代の先を行く新しい医療を模索し、利用者の方々のみならず、職員も心がわくわくできる環境をつくり、さらに発展していく医療機関であり続けたいと考えています。当院を訪れる皆さまの豊かな人生への思いに応えることにつながっていくと確信しています」

「先制医療、薬だけに頼らない、運動を取り入れるという新しい医療への取り組みを通して、岐阜の医療に新たな風を吹き込んでくれることを期待しています。ありがとうございます」



対談する操健康クリニックの操裕院長と矢島薫岐阜新聞社社長。岐阜市数田南、操健康クリニック

陰で暗えるリハビリは縮小され、リハビリを継続したい人たちの受け皿がない現実があります。「リハビリ難民」という言葉もあるくらいです。医療・介護保険の制約から、理学療法士や作業療法士が目指す理想のリハビリがなかなかできないというところもあります。そこで私たちは、リハビリを継続したい方のために、『ヘルスApp・リハビリ』として、あきらめないリハビリプログラムを提供します。Appは、Active生き生きと、Positive前向きに、Passionate熱く、熱々の頭文字をとっています」

「第3の柱はヘルシビネス・サポートです。最近では企業の健康経営という考えが広く浸透しています。どの企業も、職員の健康増進のために健診受診を奨励されています。しかし、健診後の対応までしっかりと取られているとは言い難いのではないのでしょうか。また、頭、眼、肩、腰の症状など、企業の業務効率を低下させる自覚症状の対策も重要です。そうした問題に対して当院は、理学療法士や作業療法士、管理栄養士を中心に企業に赴き、事業所内で可能な運動療法や栄養指導などを通じて『企業をまもる』健康」にするよう取り組んでいきます。さらに、運動に相乗効果をもたらすと考えられているアロマセラピーを融合させ、クリニカル・アロマセラピーに精通する看護師の監修のもと、マインドフルネス、ストレス・マネージメントも進めています」

ファーマフリーフィットネス

くすりの治療から「くすりを減らす治療」へ
血圧、糖、脂肪が気になるあなたのための
ボディメイキングを超えた
フィットネス・プログラム

ヘルスAppリハビリ

Active 活き活きと
Positive 前向きに
Passionate 熱く
病気、けが、加齢に立ち向かう
「あきらめない」
リハビリ・プログラム

ヘルシービズサポート

生活習慣病の対策や
業務生産性向上を妨げる
眼、肩、腰などの疲労を回復
「あなたの会社を
まるごと健康」にする
法人向けサービス

健康への挑戦

病気の予防のために

慢性痛の改善のために

後遺症に負けないために

パーソナルトレーニング
パーソナルリハビリ



「完全個室のトレーニング空間」
「身体の状態にマッチしたプログラム」

MISAOFIKUSAIZO

センター

OPEN!!

操健康クリニック 4F

施設見学 随時 受付中!

50分体験(要予約)も受付中。

※詳しくは、お問い合わせください。

操健康クリニック

MISAOFIKUSAIZO

〒500-8384 岐阜市数田南1丁目4-20

お問い合わせ

058-274-0330


